

飛べ!ダコタ



窪田 正孝(くぼた まさたか)さん

1988年神奈川県出身。

2006年、深夜ドラマ「チェケラッチョ!!in TOKYO」で初主演デビュー。「ケータイ捜査官7」、NHK大河ドラマ「平清盛」などで活躍。「ガチバンMAX」で映画初主演を務め、2012年「ふがいない僕は空を見た」ほかで、ヨコハマ映画祭最優秀新人賞などを受賞し、人気急上昇中の若手俳優。

©マガジンハウス/千倉 志野



比嘉 愛未(ひが まなみ)さん

1986年沖縄県出身。

2005年映画「ニライカナイからの手紙」で女優デビュー。2007年NHK連続テレビ小説「どんど晴れ」にて、ヒロインに抜擢される。その後も、ドラマ「コードブルー～ドクターヘリ緊急救命～」、「マルモのおきて」、「ハンチョウ～警視庁安積班～」シリーズ、映画「猿ロック THE MOVIE」、「僕等がいた」など多数出演。本作「飛べ!ダコタ」が初主演映画となる。



あらすじ

昭和21年(1946年)1月14日——終戦から、わずか5か月後のその日、鉛色の空を切り裂いて、1機の飛行機が佐渡島にある高千村の海岸に不時着した。それは、イギリス空軍の要人機《ダコタ》であった。真っ先に駆けつけたのは、その光景を目にしていた森本千代子(比嘉愛未)だった。

イギリス空軍のパイロットたちは、上海の英国総領事を東京まで送る途中で悪天候に見舞われ、やむなく不時着したのだという。千代子の父親で村長の新太郎(柄本明)は、《ダコタ》が飛び立つまでの間、イギリス兵たちを自分が営む旅館に迎えることにした。はじめは警戒していたイギリス人たちも、千代子をはじめとした島民たちの温かいもてなしに、次第に打ち解けていく。

一方、千代子の幼なじみの木村健一(窪田正孝)は、兵学校での事故がもとで出征することなく村に戻ったまま終戦を迎えていた。英語の通訳をという千代子の頼みもむげに断り、一人殻に閉じこもっていく。

島民たちと英兵たちが力を合わせ滑走路づくりに励む中、親友の義春の戦死報告を受け取った健一は、《ダコタ》が義春の死んだビルマ戦線で、イギリスの将軍専用機だったこと知る。健一の中で、暗い憎悪の炎が燃えたぎる。《ダコタ》を巡って、千代子と健一の運命が、いま大きく動き始めていた…。

◆製作概要

タイトル 飛べ!ダコタ

製作 株式会社アッシュジャパン

製作支援 映画「飛べ!ダコタ」製作支援実行委員会

特別協賛 (株)ベストライフ

協賛 新潟日報社、庄やグループ、昭和飛行機工業(株)、ブルボン、佐渡汽船(株)、学校法人東放学園、住友不動産(株)

後援 新潟県、佐渡市、外務省、防衛省、

駐日英国大使館、日本教育新聞社

佐渡連合商工会、(一社)佐渡観光協会、

新潟県建設業協会佐渡支部、佐渡ライオンズクラブ、

佐渡ロータリークラブ、佐渡南ロータリークラブ、新潟交通佐渡(株)、佐渡観光旅館連盟、佐渡農業協同組合、羽茂農業協同組合、連合新潟佐渡地域協議会、佐渡青年会議所

エグゼクティブプロデューサー

伊与木 敏郎

監督 油谷 誠至

脚本 安井 国穂、友松 直之、油谷 誠至

音楽 宇崎 竜童

主題歌 石井 里佳「ホームシック・ララバイ」

配給 株式会社アステア

